

中学校教科書採択に関わる「選定の観点」の設定について

27年度 国語科

教科書選定の観点

- (1) 国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- (2) 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語能力の確実な定着を図るための配慮がされていること。
- (3) 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、3領域それぞれに言語活動が効果的に取り入れられ、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- (4) 伝え合う力を高めるために、3領域1事項が調和的に取り扱われており、各教材で付きたい力が明確で、同時に古典等伝統的な言語文化に親しめるよう教材・単元が適切に設定されていること。
- (5) 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- (6) 単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮されていること。
- (7) 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- (8) 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。